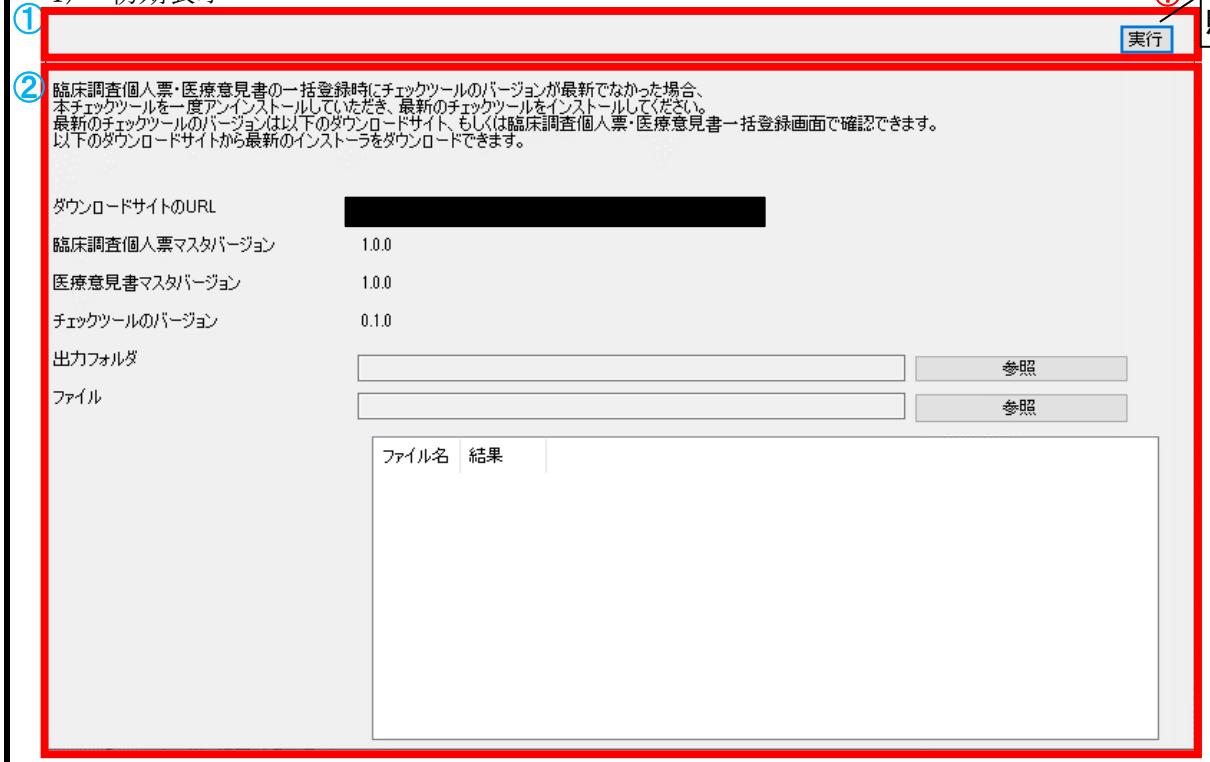
画面レイアウト定義書	システム名	難病・小慢DB	作成者		作成日	2021/11/22
	サブシステム名	指定医区画	更新者		更新日	2023/03/13
	ｻｰﾋﾞｽｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ名		承認者		承認日	

画面ID	A15S010	画面名	院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面

画面レイアウト

1. 画面レイアウト
1) 初期表示



概要

・院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面領域間の包含関係について示す。

備考

●活性化制御
出力フォルダ、ファイルのテキストフィールド
⇒常に非活性。

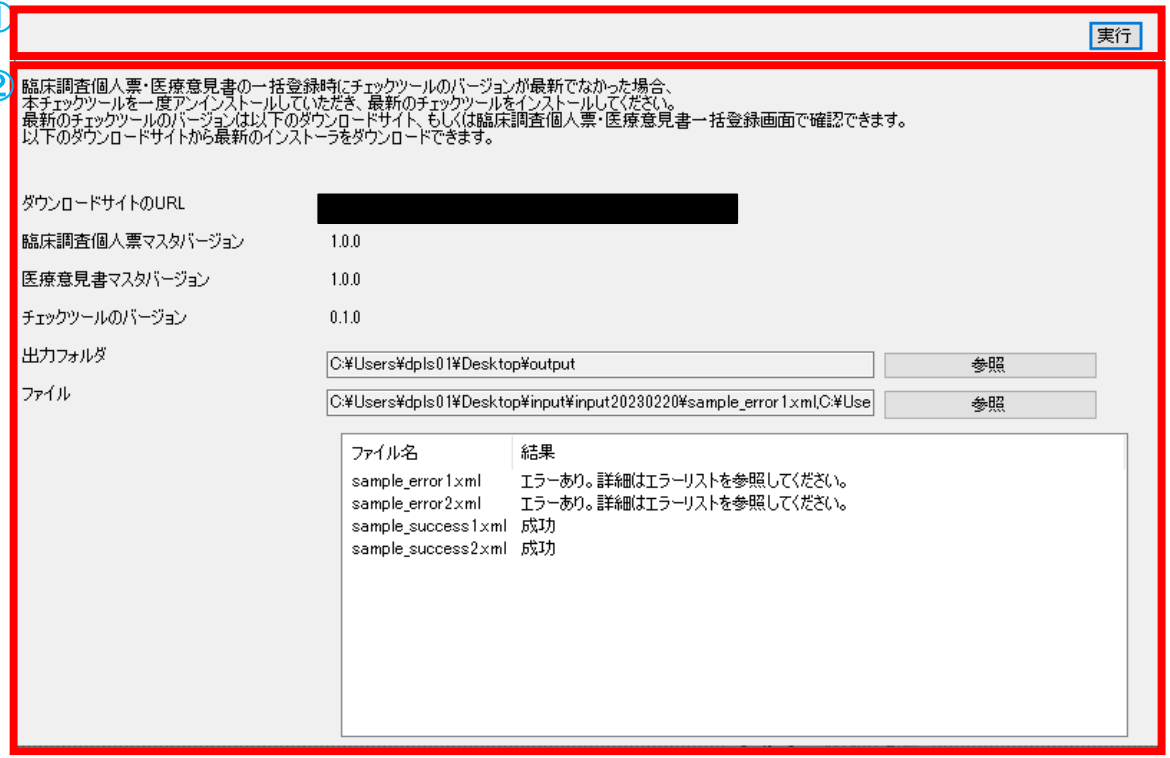
●入力チェックのタイミング
実行ボタン押下時。

●繰り返し
特になし。

●タブ順
左上から右下。

●凡例
① :画面領域番号
□ :新規に作成され表示される画面領域
① :イベントNo

2） 一覧表示


①
実行
②
臨床調査個人票・医療意見書の一括登録時にチェックツールのバージョンが最新でなかった場合、
本チェックツールを一度アンインストールしていただき、最新のチェックツールをインストールしてください。
最新のチェックツールのバージョンは以下のダウンロードサイト、もしくは臨床調査個人票・医療意見書一括登録画面で確認できます。
以下のダウンロードサイトから最新のインストーラをダウンロードできます。
ダウンロードサイトのURL
[redacted]
臨床調査個人票マスタバージョン
1.0.0
医療意見書マスタバージョン
1.0.0
チェックツールのバージョン
0.1.0
出力フォルダ
C:¥Users¥dpls01¥Desktop¥output
参照
ファイル
C:¥Users¥dpls01¥Desktop¥input¥input20230220¥sample_error1.xml,C:¥Use
参照
ファイル名
結果
sample_error1.xml
エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。
sample_error2.xml
エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。
sample_success1.xml
成功
sample_success2.xml
成功

2. 画面領域

#	画面領域番号	画面領域ID	画面領域名	備考
1	①	A15S010A001	ボタン配置エリア	ボタン(実行)を表示する領域。
2	②	A15S010A002	コンテンツエリア	チェックツールのバージョン、臨個票・意見書マスタバージョン、入力項目、およびチェック結果の一覧等を表示する領域。 一覧のソート順はファイル名(昇順)とする。

3. 画面の操作

#	手順
1	出力フォルダ、およびファイル(複数選択可)を入力する。
2	実行ボタンを押下すると確認ダイアログが表示される。 いずれかのファイルにエラーがある場合、選択した出力フォルダにエラー情報が記載されたCSVファイルが出力される。 チェックに成功したファイルには暗号化が施され、zipファイルに格納される。 また、ツールのバージョン情報を記載したファイルがこのzipファイルに格納される。 このzipファイルは選択した出力フォルダに出力される。 全てのファイルに対するチェックが完了した後、ファイル名と結果が一覧に表示される。 また、出力フォルダがエクスプローラで表示される。